

企画展

いま、「女性」はどう生きるか  
キャリア、結婚、装い、命

第Ⅱ期

# 「児童婚」は 遠い国の話？

## “結婚”から 女性の地位について考える

「児童婚」—早すぎる結婚、child marriage—  
それは、遠い国の他人事だと思えるかもしれません。  
しかし、「児童婚」が生まれる背景や要因には、  
現代日本社会が抱えている諸課題と共通する部分もあります。  
今のあなたにできる行動はないのでしょうか。  
その行動が未来のあなたにつながるかもしれません。

聖心グローバルプラザ  
**BE\*hive**  
展示 + ワークショップスペース

2021年10月11日[月]  
—2022年4月28日[木] 入場無料

会場  
聖心女子大学 4号館 BE\*hive

開館日・時間  
月曜日—土曜日 10時—17時

聖心女子大学  
**グローバル共生研究所**  
Sacred Heart Institute for Sustainable Futures [SHISF]

150-8938 東京都渋谷区広尾 4-2-24  
聖心女子大学 4号館 / 聖心グローバルプラザ  
phone: 03-3407-5811 (大学代表)  
e-mail: jimu-kyosei@u-sacred-heart.ac.jp  
HP: <https://kyosei.u-sacred-heart.ac.jp/>



# 「児童婚」は 遠い国の話？

“結婚”から  
女性の地位について考える

「今、『女性』はどう生きるか」展示の第II期では、児童婚に焦点をあて、世界の少女たちの今起こっている現実に向き合うと共に、日本の歴史から今を考えます。「児童婚」という問題は、貧困や不十分な教育、法制度や社会規範など、さまざまな社会的背景から生み出されています。本展示を通じて、私たちの常識を問い直し、よりよい社会の実現のために、一人ひとりができることを問い直す機会となることを目指します。



ウェブ展示開催中  
(10月11日公開予定)

## 各期のテーマ

「いま、『女性』はどう生きるか — キャリア・結婚・装い・命 —」。2年間をかけた4つのテーマに分け「女性をめぐる常識」を問い直す展示を目指しています。

第I期

自分に力をつけて社会を変えよう  
2021年5月～10月 ※終了

第II期

「児童婚」は遠い国の話？  
2021年10月11日～2022年4月28日

第III期

纏足の歴史と「#KuToo 運動」  
2022年5月～2022年9月末

第IV期

“命”について考える  
2022年10月～2023年4月末

※タイトルについては、変更となる可能性がございます。予めご了承ください。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



このリーフレットは、製造時に排出されたCO<sub>2</sub>をオフセット（相殺）しています。1部あたりの排出量78gとなります。また印刷にはVOC（有機性揮発化合物）を排出しないNon-VOCインキを使用し、廃液を出さない「水なし印刷」方式を採用しています。

## オブジェ作品 「優しくない、/ Unfriendly,」

美術作家 さとうりさ Risa Sato

### Message

あらゆる場面で多用されている「優しい」という言葉。そこには様々な理想が詰め込まれ、担わされる意味が徐々に巨大化しているように感じます。そろそろ、私たちがそれぞれの奥にしまっている「優しい」を取り出し、点検する時期なのかもしれません。誰かに優しくできない時だって「優しい」について考えていい。矛盾は気にしない。自分だけのものとして。



©Risa Sato

## 特別展示室

※日程は予定です。変更となる可能性がございます。予めご了承ください。

特別展示室では、スリランカの女性たちの希望を持って立ち向かう姿、そして、バングラデシュの少女たちが置かれている厳しい現実に向き合う姿を展示しています。

### Gnadaa Japan スリランカ元内戦地域の女性たちからのメッセージ

2021年10月11日～2022年1月29日(土)

### 「わたし8才、職業、家事使用人」写真展

2022年2月～4月末



## ワークショップの案内

展示からの学びをより深めていただくためのさまざまなワークショップをご用意しています。2021年度 BE+hiveのワークショップは、オンラインで開催します。



### プログラム例

**1. 女性** 当たり前だと思われていた「女性をめぐる常識」が、大きく変化しつつある現代社会。この学びの出発点として、まずは「男女」を切り口とした多様な視点でジェンダー規範の理解を深めます。これまでの日常ではあまり考えていなかった気づきから、自らが生きたい社会を問い直してみましよう。

**2. 気候変動** 気候変動の現状と原因を知り、自分たちの生活とのつながりを学び、さらに興味・関心を深めていきます。

**3. 日本にいる難民** 世界と日本の難民問題や日本に住む難民のエピソードを通して、難民問題について考えます。

### 対象・人数

原則として高校生以上、人数は20名前後（応相談）  
費用は無料／要事前予約（実施1か月前締切）

### 所要時間

ご希望に応じて約90分～120分程度で承ります

### 質問・申し込み先

TEL: 03-3407-5811 (代表)  
E-mail: be-hive@g.u.-sacred-heart.ac.jp



ワークショップの企画・運営は、認定NPO法人開発教育協会 (DEAR) <http://www.dear.or.jp> と共同で行っています。

## 展示「緒方貞子さんと聖心の教育」同時開催

国連難民高等弁務官や JICA 理事長として難民支援と国際協力に尽力された緒方貞子さん。人道支援への強い信念は、学生時代に影響を受けたとされる聖心女子大学初代学長が論じた人間尊重の想いに通じるものがあります。それらを貴重な写真やエピソードを交えてご紹介します。



## 聖心女子大学 グローバル共生研究所

Sacred Heart Institute for Sustainable Futures (SHISF)  
150-8938 東京都渋谷区広尾 4-2-24  
聖心女子大学 4号館／聖心グローバルプラザ  
phone : 03-3407-5811 (大学代表)  
e-mail : jimukyosei@u-sacred-heart.ac.jp  
HP : <https://kyosei.u-sacred-heart.ac.jp/>



## 聖心女子大学 4号館／聖心グローバルプラザ

